

千代田区長選挙の結果について(コメント)

2009年2月2日

千代田区職労書記長 小林 秀治

千代田区長選挙が2月1日開票されました。現職の石川雅己氏が9254票で当選しました。区職労が支持した下田武夫氏は、投票率(今回43.66%、前回43.15%)がほぼ同じ中で、4年前の6071票から1180票上積みし、7251票を獲得しましたが惜敗しました。また、前回石川氏の得票とは2830票差あったものを2003票差までに縮小しました。

この結果は、2期8年の実績をアピールした現職の石川雅己氏が強さを示したものの、石川区政への批判が4年前よりも広がり、税金のムダづかいをする余裕はない、開発一辺倒では、血の通ったまちづくりはできない、

区政に「やさしさ」を取り戻すことなどの政策を訴えた下田武夫氏への支持が広がったものといえます。

区職労は、引き続き区政を担う石川区長に対し、この選挙結果の重みを受け止めた区政運営を行うよう強く求めるものです。

区職労は、千代田区労協に結集し、短期間ながら全戸宣伝などに取り組みました。

下田武夫氏の政策実現のために奮闘された組合員の皆さんに心から敬意を表します。

引き続き、区職労は、区民本位の区政実現をめざし、区政版「構造改革」とのたたかい、とりわけ、保育園民営化阻止に向けて保護者と連携し、取り組みを進めていく決意です。また、職員の削減に反対し、職場を守っていく決意です。

以上